

彼方「かなた」

校長通信

H29.4.6

Vol.2

【着任式で伝えたかったこと】

白山中という素晴らしい学校に着任できたことをうれしく思います。管内には71校の公立中学校があります。それぞれの学校には、それぞれの良さがあります。その良さをブランドと言います。白山中がすごいと思った理由は二つあります。一つは、生徒会長の白杉君が発行した生徒会報です。「私たちの大切な伝統を守りたい。明るい挨拶が交わせるようにしたい。」という思いから生徒会の皆さんで正門に立ち、挨拶運動を始めたことが書かれていました。自分たちのブランドを汚さず、もう一度作り直そうとする姿勢に感動しました。もう一つは、その挨拶です。白山中に着任したとき、職員玄関に三人の女子生徒が立っていました。「おはようございます」とも自然挨拶をしてくれました。それもニコッと笑顔というオポジションを着けてくれました。思わずうれしくなり名前を覚えてもらいました。女子バレーボール部の皆さんでした。新しい場所に来るといっては、いくつになってもとても緊張するものです。でもそのストレスを三人の笑顔でとても楽になり、頑張ろうという気持ちになりました。このように皆さんの良さと学校の良さがまだまだ沢山あると思います。これから校長として、そういう白山ブランドを発信したり、新たに創り上げていけたりしたらいいなと思います。

どうぞよろしくお願ひします！

【始業式で伝えたかったこと】

とてもすごい学校に着任できたことをうれしく思うというお話しを先ほどしましたが、実はもう一つ感激したことがあります。それは、校歌の歌詞です。一番の「純乎志操」、二番の「一人の友も置き去らじ」、三番の「忍と耐」の三つです。三月末に新しい学習指導要領が文部科学省から出されました。そこには未来の皆さんに対する思いが書き込まれています。校歌も指導要領も皆さんの未来に対するメッセージが強く込められているからです。

皆さんが十年後、二十年後に大人になり、家庭を持ち、親になったとき、自分の中学校時代を振り返りながら、「中学校時代は、楽しかった！助け合ってた！白山中で本当に良かった！」と語れる学校にしたいと思っています。

学校教育目標「みがき合い、支え合い、心豊かであくましく生きる生徒」に迫れるように、毎日の学校生活を楽しく、笑顔で支え合ってほしいと思います。そこで皆さんに意識してほしいことが四つあります。一つ目は、「自ら学び、思考、表現する生徒」です。大切なキーワードは「主体的に」です。皆さんの未来は、答えのない難しい問題を自ら解決していかなければならない社会です。学校生活でも難しい問題に向き合い、自ら解決する勉強をしていきましょう。二つ目は「情操豊かで品位がある生徒」です。学校生活で多くの感動体験を通し、心を育てて、礼節を大切にし、白山中ブランドをつくりあげて欲しいと思います。三つ目は「思いやり、助け合える生徒」です。周りに対する「思い」を「思いやり」

という目に見える行為にし、学校教育目標に盛り込まれた「支え合う」心を大切にしてほしいと思います。最後の四つ目は、「健康であくましい生徒」です。これは活動の基本です。自分の健康管理に気を付けて、思いっきり学校生活を楽しんでほしいと思います。以上の四つ生徒像を実現できるようにみんな意識して生活してほしいと思います。

学校は大人になるための勉強をするところです。日本の法律では二十歳になると大人です。でも大人じゃない人が沢山います。ある脳科学者は、「大人というものは、自分以外の誰かのために、世の中のために何ができるかを考え、自ら一歩踏み出し、行動する人である。」と言っています。法的にはまだでも精神的にはすでに大人になっている人も皆さんの中にじゃいるのではないのでしょうか。自分から考え、誰かのためになるように一歩踏み出す練習を、卒業までに沢山経験してください。

そのために先生方には次のことをお願いしました。ひとつは、皆さんの良さを認め、理屈抜きで好きになる先生です。次に笑顔を大切にして信頼関係をつくらうとする先生です。三つめは、皆さんの話をよく聴き、気持ちに分かる先生です。そして最後に「自ら、共に学ぶ生徒の育成」を研究テーマにし、学び続ける先生です。皆さんのために私も含め、今あげた先生像を目指して頑張りたいと思います。

節目となる今日、私達は新たなスタートラインに立ちました。今までの「ダメ」は昨日に置き、今日からは、「白山ブランド」を意識し、新たな「感動ある学校」づくりを皆で進めていきましょう！